

たばこの恐ろしさ 名古屋で講演会

世界禁煙デー(31日)を前に、「子どもをタバコから守る会・愛知」は22日、名古屋市中村区名駅の桑山ビルで、講演会「世界禁煙デー・イン・愛知」を開催する。

若者たちの禁煙に取り組みリセット禁煙研究会・予防医療研究所代表の磯村毅さんが「『ハマる』を科学する！たばこ、アルコール、ゲーム、携帯などなど」と題して特別講演。コロンタクトレンズ大手「メニコン」(本社・名古屋市)の三牧功さんが、企業の社会貢献活動としても取り組んでいる禁煙活動を紹介し、現役の学生による脱たばこ教育の発表もある。中京大学の家田重晴教授は、今年の世界禁煙デー

のスローガン「Get ready for plain packaging」を解説。4年前にオーストラリアで始まり、欧米に広がるたばこの箱から広告的なデザインを排除する動きに言及する。参加無料。

タンザニア原画展示会 6色のペンキで描く



色鮮やかな動物たちが描かれた絵に見入る来場者

野生動物などが色鮮やかに描かれたタンザニアの現代美術の展示会「ティンガティンガ原画展」家族愛、平和への道標」が名古屋市中区の妙香園画廊で開かれている。22日まで。ティンガティンガ美術は、6色のペンキだけを使って、動物や自然、人々の生活を描くタンザニア発祥の絵画様式。日本にもその魅力を伝えようと、タンザ